

9条を変えて、「戦争する自衛隊」 にしていのでしょうか？



政治の私物化・モリ・カケ問題、公文書の改ざん・隠ぺい、防衛省のシビリアンコントロールの崩壊、セクハラ等と、スキャンダルまみれの安倍自民党政権。それにもかかわらず、「憲法改定」を諦めていません。

憲法9条に「自衛隊」を書き加えて、「二度と戦争しない」・「戦力は持たない」と決めた憲法9条を壊そうとしています。

「自衛隊」を書き加えるだけ？ 安倍9条改憲で何が変わるのか？

「憲法9条に『自衛隊』を書き加えるだけで、何も変わらない」と安倍首相は言います。

変わらないなら何故憲法を変えようとするのでしょうか？ 安倍首相が語らない本当のネライがあるからです。

書き加えられる「自衛隊」は、 「戦争法に基づく戦争する自衛隊」

書き加えられる自衛隊は、「災害救助に頑張る自衛隊」ではありません。戦争法（2015年）によって、集団的自衛権の一部行使が認められた自衛隊です。日本が攻撃されていなくとも「日本の安全と存立が脅かされる」と判断された場合、米軍と共に戦うことを任務とする自衛隊です。

■安倍首相は、この“戦争する自衛隊”を憲法で認めさせようと狙っているのです。

安倍9条改憲で、 自衛隊が大きく変質します！

自衛隊が憲法に明記されれば、これまで政府が“自衛隊合憲”として説明してきた「専守防衛」「災害救助業務」は必要無くなり、おっぴらに“海外で戦争する自衛隊”（=普通の軍隊）に変わります。

■これが安倍首相のネライです。

自衛隊が9条に明記されると、 社会全体が「軍事優先」化します。

9条加憲は自衛隊だけのことではありません。軍事優先の社会となり、①徴兵制、②軍事秘密の強化・横行、③軍事費の増大等となります。一方、社会保障の削減等、私達の暮らしにも大きく影響します。私達の基本的な人権が後回しとなります。日本の未来がこのようになって、よいのでしょうか。

■日本の進むべき方向が、これまでの“平和の道”を進むのか、それとも安倍首相が目指す“戦争する国”に変わるのか、今、大きな分かれ道にあります。安倍政権は、日本を戦争する国にするために、これまでに「秘密保護法」「戦争法」そして「共謀罪法」を、多くの国民の反対や懸念を無視して、強引に成立させました。そして今度は、9条改憲を狙っています。

■今こそ、憲法を守り・生かしましょう！

「安倍9条改憲NO！憲法を生かす 全国統一署名」にご協力を！

安倍9条改憲を阻むため、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」に私達は取り組んでいます。アナタも是非ご協力下さい。この裏面は、署名用紙です。お使い下さい。

この署名は、4月末で1350万人を突破しました。改憲発議を断念させ、安倍退陣に追い込むために、3000万人達成を目指して署名運動を続けますので、引き続きご協力下さい。

今、日本の分かれ道 アナタはどちらを選びますか？
「平和の道」vs「戦争への道」



裏面は署名用紙です。お使い下さい。
署名後、事務局にお届け下さい。

私たちは「高洲・九条の会」です。

2018.08

